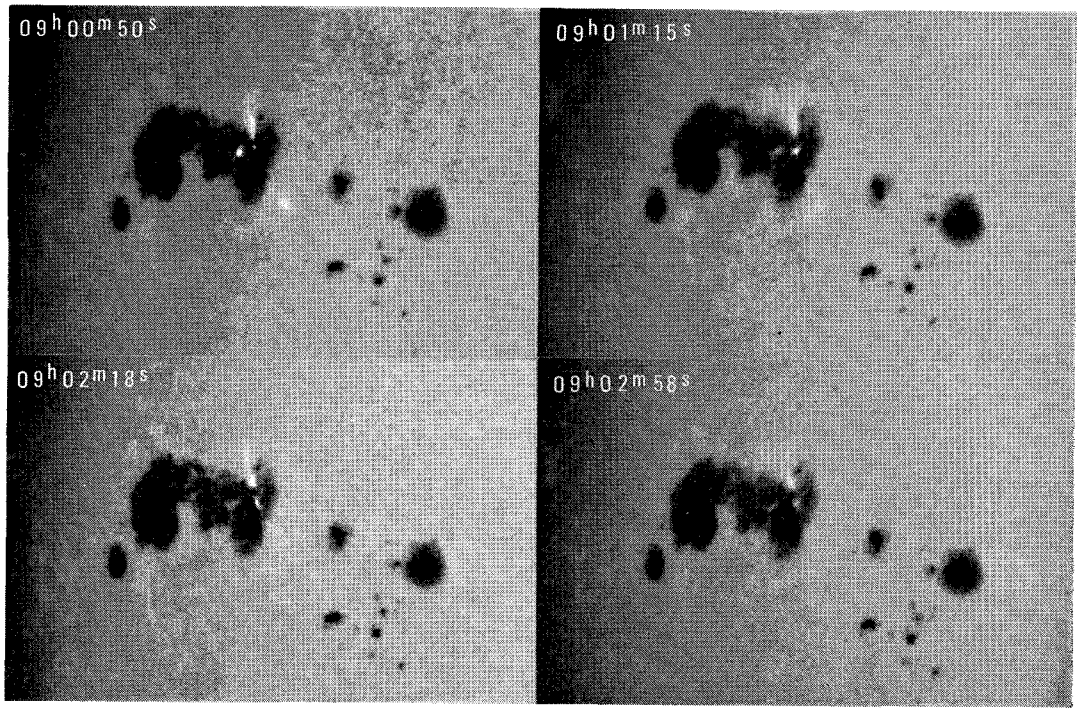
1984年4月25日の白色光フレア

名 取 正*

黒点観測の終了直前，ふと眼を投影像に向けた時，大黒点のところがやや明るくなっているのに気付いた．最初は，投影像が鉛筆書きのスケッチ像に重なって投影されていたためよく判らなかったが，不審に思って白紙を当てて数回動かしてみて，一瞬これが白色光フレアであることが判った．9時00分30秒頃である．この時の白色光フレアの色は明るい真珠色（薄いクリーム色に薄い茶色を混ぜたような色）をしており，確認している2～3秒の間にも明るさを増してきたので，すぐに撮影にとりかかった．写真撮影の望遠鏡は20cm屈折赤道儀の鏡筒上に取り付けられてあるため，1枚撮影するのに急いでも17～18秒はかかる．準備をして投影板の所へ戻った時，フレアは最初の真珠色とはうって変って文字通りの白熱した白色光になっていた．丁度白紙上にルーペで太陽像を結ばせた時のあのような強いまばゆい白色光であった．最初に撮った写真（9時00分50秒）の中で，黒点から噴出しているように曲って見えるフレアは，強い光が周囲に滲み出ていたせいか肉眼ではもう少し太く真直に見えていた．まぶしく見えていたのは9時02分頃までで，その後は次第に明るさが減って04分頃に再び真珠色に見え，最後は痕跡程度に暗くなってしまった．下の写真は当時撮影した8枚のうちの4枚である．使用した望遠鏡，フィルム等は次の通りである．

太陽写真儀：口径 10cm，焦点距離 150cm，五藤光学製，黄色フィルター使用，有効波長 5050A，撮影太陽像：20cm
シャッター：コパル EF 313，露出約200分の1秒
フィルム：フジプロセス・シートフィルム（オルソクロマナィック），キャビネ
現像液：フジコピナール，23°C，3分



* 東京天文台 Tadashi Natori: A White Light Flare on 25 April 1984